

理事長挨拶 済生会理事長 炭谷茂

恩賜財団済生会理事長の炭谷と申します。本日は第 12 回済生会生活困窮者問題シンポジウムを開催するにあたり、このようにたくさんの人にお集まりいただきましてありがとうございます。

いまはいろいろな人が地域社会から取り残されて、差別されて、排除されている社会だと思います。たとえば今日もお話があるかもしれませんが障害者の方、特に私が心配しているのは発達障害や精神障害の方、また受刑者の方、引きこもりをしている方、認知症の高齢者、その他、挙げれば限りなくいらっしゃる。このような問題は最近起こってきた問題で、いっこうに解決する見通しが無い。これをぜひ解決しないと、地域社会は混乱してしまうのではないかと考えております。

そこで済生会は平成 2 年 7 月に、済生会ソーシャルインクルージョン推進計画をつくりました。2000 の事業をこの中で展開する。これにおいて先ほど言ったような人たちが社会から孤立しない、排除されない、取り残されないようにしていきたいと考えております。

その中で、この小樽市、北海道、済生会小樽病院を中心にして、日本の中で一番モデル的に、先進的に取り組んでいるところです。ソーシャルインクルージョンとは何なのか。よくわからない場合は、最近「ぜひ小樽市の済生会の事業を見てくれ」と言っています。このシンポジウムは、このような意味で大変役に立つのではないかと考えています。

このシンポジウムを行うにあたりましては、日本財団様、小樽市、小樽商科大学と、いろいろな団体にお世話になっております。そのような方々と一緒になって、ソーシャルインクルージョンのまちづくりを進めていきたいと思っておりますので、今日ご参加の皆様方の一層のご協力を賜りたいと思っております。このシンポジウムが皆様にとって充実したもの、実りあるものになるようお祈りいたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。